

令和6年度第1回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和6年4月23日（火）午前10時から11時まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 松本孝志教育次長兼教育総務課長、伊藤顕吾学校教育課長、
押野一貴生涯学習課長、伊藤明学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

- 議第1号 天童市学校評議員の委嘱について
- 議第2号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 議第3号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について
- 議第4号 天童市社会教育推進員の委嘱について
- 議第5号 天童市青少年育成推進員の委嘱について
- 議第6号 天童市指定文化財の指定について

各課からの連絡

- (1) 教育総務課
 - ・令和6年度小中学校施設営繕予定について
 - ・令和6年度教育委員会行政視察について
- (2) 学校教育課
 - ・小中学校入学式について
 - ・令和5年度中学校卒業生の進路状況について
 - ・令和7年度中学校教科用図書について
 - ・令和6年度学校教育パンフレットの配布について
 - ・令和6年度市教委学校訪問予定について
- (3) 生涯学習課
 - ・市立荒谷公民館の改築について
- (4) 学校給食センター
 - ・令和6年度の給食開始について
 - ・炊飯施設等の稼働状況について
 - ・ちょこっと食育タイム活動の実施について
 - ・中学生学校給食無償化事業の実施について

< 教育長あいさつ >

先日、東北都市教育長会総会があり出席した。仙台育英学園高校で硬式野球部監督している須江航氏の講演を拝聴し、その中で、今の子どもたちにはこちらが言いたいことを言うのではなく、子どもたちが聞きたいと思うことを話さないと受け取ってもらえないことを話された。教員もそうありたいものだと感じた。

年度初めの市内小中学校の校長会議と教頭会議で、校長には経営プラスはつらつとした校長としての雰囲気や大事にすること、教頭には、地域や施設のことなど学校に係るすべてのことを知識として持ち、学校経営に活かしてほしいと伝えた。

特に、学校経営で必要なのは住民からの理解と支持であり、校長や教頭だけで考えても保護者や子どもたちに理解されていなければ意味がない。行事案内などの発信を通して、住民に開かれた学校経営をすることが大事である。

また、他の教員の模範となり自分自身の職務向上や成長のためによく学ぶこと、周りに対しては言葉遣いや態度、表情なども意識して接してほしいと伝えた。

今年度も努力していくのでよろしくお願ひしたい。

< 議 事 >

議第1号 天童市学校評議員の委嘱について

< 決定する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第2号 天童市教育研究所運営委員会委員の委嘱について

< 決定する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第3号 天童市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について

< 決定する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第4号 天童市社会教育推進員の委嘱について

< 決定する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第5号 天童市青少年育成推進員の委嘱について

< 決定する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第6号 天童市指定文化財の指定について

< 決定する >

審議経過

生涯学習課長：天童市文化財保護審議会からの答申を受け、天童市文化財の指定を行うもの。指定する文化財の名称は、廻国行者快順の笈と納経帳五冊、指定内容、種別とも有形民俗文化財となる。貫津地区の結城家に伝わるもので、快順という者が、日本全国を納経で廻った際の笈と納経帳が良好な状態で残っている非常に貴重な資料であり、さまざま調査をして今回指定になったもの。

< その他意見等 >

大内委員：先日テレビで、子どもの体育座りの身体への影響について報道していた。報道では、体育座りをする代わりに、椅子を使っている学校が取り上げられていた。天童市内の状況はどうか。

学校教育課長：天童市内では、集会や体育の授業等で特に椅子を使うことはせず体育座りをしている。周りの市町村はどうか調べたい。

村山委員：第二中の南校舎の特別教室があるトイレについて、臭い等があり入りづらくわざわざ職員室近くのトイレを利用しているようだ。

教育次長：第二中のトイレはすでに改修が済んでいるが、なお現場を見て先生にも状況を聞きながら、配管の問題もあるかと思うので再度点検してみたい。

村山委員：幼稚園の先生から、小学校の先生ともう少し関わる時間があればいいと伺った。小学校でどのように生活をしていけばいいのかを小学校の先生に伝えたいと話をしていたので、そのような機会があればすごくいいのではないか。

クラス替えで慣れなく、教室に1人であるのが苦しい思いをした経験がある。もちろんコミュニケーションを取ることもすごく大事だが、休憩時間を教室でずっと過ごすのではなく、開放感がある屋上や渡り廊下などで過ごす時間があると、そこでまた友達ができるのではと思う。

学校教育課長：幼児教育は非常に大切であり、幼小のつながりがうまくいかないと、小学校で子どもが適応できない。まだまだ小学校の先生が、幼稚園等の先生から教えてもらうことがたくさんある。今年度、幼小関係の事業計画の中で、つながりを進めていきたい。

子どもたちにとって過ごしやすい場所が必要だ。教室だけでなく自分のお気に入りの場所があればリフレッシュもでき、気の合う仲間が集うことも考えられる。安全上の観点からどこまで開放できるか各学校で考えながら、過ごしやすい居場所について校長会等の機会の折、学校に伝えたい

教育長：その他意見なし。以上で令和6年度第1回教育委員会会議を終了する。